

文化と暮らす ちちぶ

秩父宮記念市民会館情報誌
Culture Collaboration Box

CCB

ホールレター



秩父宮記念市民会館
The Prince Chichibu Memorial Civic Hall

—世界の擦弦楽器と
打楽器がいざなう
新たな音楽の旅路—



二胡
沈琳



胡弓
木場大輔

異文化弦楽団コンサート



チェロ
島津由美



ガドゥルカ
ヨルダン・マルコフ



パーカッション
立岩潤三

2026.
2月28日[土]

大ホールフォレスト
開演14:00(開場13:30)

2月28日[土]
開催

—世界の擦弦楽器と打楽器がいざなう 新たな音楽の旅路—

異文化弦楽団コンサート

日本独自の擦弦楽器・胡弓と、中国の二胡、ブルガリアのガドゥルカ、西洋のチェロ。
世界の多様な擦弦楽器による、唯一無二の弦楽アンサンブルが秩父に登場!



胡弓 木場大輔

二胡 沈琳

パーカッション 立岩潤三

ガドゥルカ ヨルダン・マルコフ

チェロ 島津由美

2021年2月に市民会館で開催した邦楽コンサートで観客を魅了した胡弓演奏家の第一人者である木場大輔が、胡弓の普及と新たな展開を目指して結成した弦楽アンサンブル『異文化弦楽団』。

世界各地でそれぞれに進化した擦弦楽器と中東の打楽器が、お互いの個性と文化を尊重しながら奏で合い、ユーラシアを横断するような音楽の旅路に皆様をお連れします。ここでしか聴けない唯一無二の演奏をお楽しみください。



メッセージ

この度、秩父宮記念市民会館にて再び公演させて頂けて嬉しく
光栄です。前回の全て和楽器による公演とはガラリと異なり、
今回は「異文化弦楽団」として、弓で奏でる弦楽器の多様な世
界に皆様をいざないます。

異なる文化のもとで進化した個性豊かな擦弦楽器。同じ旋律
が各楽器特有の歌い回しになるなど、奏法や発想の違いには
いつも驚きと発見の連続です。練習の休憩中にも楽器やグルメ
の話が止まりません。互いの個性と文化を尊重しながら奏で合
う唯一無二のアンサンブルをぜひお楽しみください。

木場大輔

さつげん 擦弦楽器 とは?

弓や棒などで弦をこすって音を鳴らす楽器のこと。
太鼓などの打楽器や、ギターやハープのような撥弦(はつげん)楽器と違って持続音を出すことができ、管楽器のように呼吸に左右されずに音を長く伸ばすことができる楽器です。

演奏曲

- シルクロード組曲 第一番 月と大地の記憶 作曲 木場大輔
- ブルガリア民族音楽 作曲 ヨルダン・マルコフ
- 黒田節 福岡県民謡 ほか

※演奏曲は変更になる場合がございます。

日時 2026年2月28日(土)
開演14:00(開場13:30)

料金 【全席指定】 一般:2,500円 高校生以下:1,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

会場 大ホールフォレスト

チケット取り扱い 市民会館電話予約 チケットぴあ 窓口販売 ※チケット販売の詳細は裏表紙をご覧ください。

チケット
発売中!

2月14日[土]・
15日[日]
開催

大人のためのワークショップ

今年も市民会館では、大人のためのワークショップを開催します。
昨年につき、からだクラスの講師はダンサー・振付家の神村恵さんと
ゲストに美術作家の高嶋晋一さんをお迎えします。

そして今回新しく開講するどらまクラスは、名古屋を拠点に活動する「優しい劇団」の尾崎優人さんをお招きして
即興でお芝居作りに挑戦します。お気軽にご参加ください！

からだクラス

今回のテーマは「開く／閉じる」です。「開く」があれば「閉じる」が現れ、「閉じる」があれば「開く」が現れます。人の動きも大雑把に言うと、日々閉じたり開いたり繰り返してはいませんか。今回はこのキーワードを手がかりに、人やモノ、空間の動きを見直して、開く／閉じるに分けたり、同時にやったり、その中間を作ってみたり。最後は、一人ずつ短い「開閉」のダンスを作って発表します。

神村恵(ダンサー・振付家)



©前谷開

メッセージ 日々当たり前に行っている動きを改めて分解して、見つめたり感じたりしてみましょう！例えば、目を開ける／窓を開けるといふ動きは、どのくらい同じで、どのくらい違うのでしょうか？毎日飽きずに繰り返している動きだからこそ、そこから意外と面白いダンスが見つかると思います。

高嶋晋一(美術作家)



©前澤秀登

メッセージ 窓、扉、戸、傘、本、箱、瓶、袋……さまざまな事物が開いたり閉じたりすることができます。開閉の仕方の違いによって、あなたが受ける感じもまた異なってきます。例えば傘は中心点から放射状に、本は左右対称に展開する。こうした事物の開閉を身体の開閉とつなげたりズラしたりする試みをしたいと考えています。

profile

神村恵(かみむら めぐみ) 振付家・ダンサー。2004年より活動を開始。美術家とのユニットでも活動し、ダンスに収まらない作品も発表する。近年の主な作品に、『新しい稽古』(2023年、BankART KAIKO)など。2022年、東京都国分寺市にてスタジオ「ユングラ」の運営を開始。2024年より、武蔵野美術大学などで非常勤講師。https://kamimuramegumi.info

profile

高嶋晋一(たかしま しんいち) 美術作家。写真家・映像作家の中川周と映像作品を、ダンサー・振付家の神村恵とユニット「前後」名義でパフォーマンス作品を共同制作するほか、執筆活動も行う。また2023年よりスタジオ「ユングラ」にて、「探究会:あるをする」という会を個人名義で開催している。

どらまクラス

俳優が集まって1日で稽古から本番までを行う人気企画『優しい劇団の大恋愛』を参加者の方々と行います！事前にお送りする台本でイメージをして(台詞を全て覚える必要はありません)、集まってお芝居を作ります！1日しか集まなくても、その日しか会うことがない人としても、演劇は作れるし面白い。そんなことを体験してみましょう！

尾崎優人(演出家・俳優)



メッセージ お恥ずかしながら僕は秩父に行ったことがありません。北海道にも九州にも、四国にも行ったことがありません。最近訪れたことのない場所に、演劇のおかげでお邪魔させて頂くことが増えました。そこにあるものを見つめるしかない、舞台の上だけで行われる演劇のおかげで、世界が広がってきています。皆さんとお会いするのが本当に楽しみです。

profile

尾崎優人(おざき ゆうと) 2000年生まれ。名古屋市在住。優しい劇団主宰。脚本・演出を務める。17歳より、ロック歌舞伎スーパー一座 座長・原智彦氏に師事。唐十郎氏に強い影響を受ける。昨年より、顔合わせから本番までを1日で行うシリーズ作品『優しい劇団の大恋愛』の創作に取り組んでいる。

日時 からだクラス 2026年2月14日(土)
どらまクラス 2026年2月15日(日)
各日13:00~16:00 ※適宜、休憩を挟みます。

会場 大ホールフォレスト舞台上

対象 中学生以上(舞台の経験や年齢・性別は問いません)

定員 各クラス10名程度(要申込)

料金 1クラス1,000円/2クラスセット1,500円

お申込み開始日 1月8日(木)10:00~

お申込み方法 ①参加希望クラス、②氏名、③氏名ふりがな、④年齢、⑤性別、⑥郵便番号、⑦住所、⑧電話番号、⑨メールアドレス、⑩参加の動機、をご記入の上、メールまたはFAXにてお申込みください。

メール: ccbhall@city.chichibu.lg.jp

FAX: 0494-23-2298

※保険に加入するため、参加者氏名・年齢を保険会社に提供いたします。
※ワークショップ中は写真撮影を行い、市民会館広報誌等に掲載いたします。
イベントの性質上参加者の方が写り込む可能性がございますので、事前にご了承の上ご参加ください。

中高生休日アート喫茶2025

喫茶店(カフェ)にいるように、気軽にリラックスして参加できるワークショップです。
今回のゲストは、キングオブコント2025準決勝進出の新進気鋭のコントユニット「破壊ありがとう」の3人！

参加者一人ひとりの興味や好奇心を大切にしながら、自由を楽しめる時間を一緒に作りましょう！

日時 2026年1月24日(土)・25日(日)
〈全2日間〉各日13:00~16:00

会場 大ホールフォレスト舞台上 対象 中学1年生~高校3年生

定員 10名程度(要申込) 参加費 1,000円

お申込み方法 二次元コードよりお申込みください。

※電話番号・メールアドレスは保護者の方のものでも結構です。
※市民会館からのメールをもって受付完了とさせていただきます。
3日以内にメールが届かない場合はお手数ですが、市民会館までお電話にてお問い合わせください。
※保護者の方の見学はできません。
※保険に加入するため、参加者氏名・年齢を保険会社に提供いたします。



KOC2025
準決勝進出

申込
受付中!

1月12日[月・祝]
開催

ドラマティコ・ベジターレ

アルペロ
『Albero 木』

2歳から
入場可能!

事業担当者より

ドラマティコ・ベジターレが紡ぐ世界は、コミカルで優しく、想像が無限に広がる世界です。今回の「木」は、光と影、オブジェなど使い、木の成長を通じて、命の軌跡を表現します。観る方の年代によっても、様々な感じ方ができる舞台となっています。舞台上という、いつもとは違う視点から、パフォーマンスをお楽しみください。



光と影、音楽が重なり合い、あなたにやさしく語りかける。人生を重ねていくことが、愛おしくなる、いのちの物語。小さなお子様から大人の方まで、世代をこえてご覧いただける作品です。ぜひ劇場でお楽しみください。

日時 2026年1月12日(月・祝)

午前の部 開演11:00(開場10:45)

午後の部 開演15:00(開場14:45)

※上演時間は約40分を予定

会場 大ホールフォレスタ舞台上

料金 【全席自由】

大人:1,000円 こども(小学生~高校生):500円

未就学児:無料(要申込) ※2歳未満入場不可。

チケット取り扱い

市民会館電話予約 窓口販売

※チケット販売の詳細は裏表紙をご覧ください。

チケット
発売中!

3月23日[月]
開催

けやきらくぐ vol.16

真打SP

けやきフォーラムで落語を楽しむ「けやきらくぐ」。

今年度のトリは、秩父市出身の蜷気楼龍玉さんがけやきらくぐ初登場!

2014年に真打ち昇進を果たした柳家三語楼さんとお届けする二人会です。

蜷気楼龍玉

埼玉県秩父市出身

1997年 五街道雲助に入門
前座名「のぼり」

2000年 ニツ目昇進

「金原亭駒七」と改名

2005年 「五街道弥助」と改名

2010年 真打昇進
「三代目・蜷気楼龍玉」
を襲名



東京都板橋区出身

1999年 鈴々舎馬風に入門
前座名「パンビ」

2002年 ニツ目昇進

「風車」と改名

2014年 真打昇進
「四代目・三語楼」
を襲名

柳家三語楼

Q落語家になったきっかけは?

自分が人間としてダメだということに気がついた時に出会ったのが、たまたま落語でした。ダメな人間でも、どうにかやっていけるもんだと思わせてくれました。

Q落語会に向けてメッセージ

こちらの会場での落語会は二回目の出演でございます。落語という古いもののように思われますけれども、今いる人間の生態もよく出ていると私は思っております。今回、その普遍性を感じていただけるような噺ができるといいのですが。

Q落語家になったきっかけは?

小学生の頃に時代劇や着物など和の物が好きになり、その流れで落語にも興味を持ち噺家に憧れました。やがて入門を決意してから紆余曲折があり…。詳しくは二次元コードをご覧ください。



Q落語会に向けてメッセージ

私は鉄道が好きで、秩父と言えば昔の5000系レッドアローやパレオエクスプレスが思い浮かびます。今回からは「秩父と言えば落語」に変わりそうです(笑)。楽しい高座を勤めます。どうぞよろしくお願いたします。

日時 vol.15 2026年1月26日(月)

vol.16 2026年3月23日(月) 真打SP

各回 開演18:30(開場18:00)

会場 けやきフォーラム

料金 【全席自由】1,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

出演者 vol.15 昔昔亭喜太郎、三遊亭ふう丈

vol.16 蜷気楼龍玉、柳家三語楼

チケット取り扱い

市民会館電話予約 窓口販売

※チケット販売の詳細は裏表紙をご覧ください。

チケット
発売中!

舞台上の間近で作品を楽しんでいただく舞台上ミニパフォーマンス。第三弾は、初めての演劇公演を開催しました。『宇宙のヒト』は、遠い月の世界を映画に撮っている少年の物語で、実際にその場で少年が撮影した映像がスクリーンに映し出されるなど、少年とともに、映画づくりを体感しながら、物語の世界に没頭していききました。少年を通して描かれる世界に、子どもたちは、笑い声をあげながら、目を輝かせ、かつて子どもだった大人の方々は、昔遊んだヒーローごっこやおままごとなどの記憶や、「わくわく」や「どきどき」という感情を思い出し、子ども時代に戻ったかのように、舞台を見つめていました。ラストシーンには、少年と宇宙人の触れ合いもあり、思い続けていれば夢を叶えることができるかもしれないという希望を感じることができました。



9/20(土) ワークショップレポート



公演の3日前には、映画づくりを体験するワークショップを開催しました。宇宙をテーマに、参加者それぞれが持ってきたお気に入りのものを登場人物とし、物語を考えました。その後は、宇宙人や宇宙船、背景など役割分担をして、映画を撮るための小道具を制作。実際の撮影では、照明係としてライトを当てたり、登場人物を動かす手伝いをしたり、みんなで協力して一つの作品を作りました。



野村萬齋 能・狂言の世界



解説コーナー

野村萬齋さんに2年ぶりにご登場いただいた今回は、『能・狂言の世界』と題し、観世流御宗家の御子息、観世三郎太さんもお招きし、能の演目もお楽しみいただけるプログラムとなりました。

上演前には、萬齋さんから能について、ご子息の裕基さんから狂言についてわかりやすく解説していただき、続く狂言『佐渡狐』では、それぞれの思惑が見え隠れするやりとりで笑いが起こり、狂言ならではの面白さを堪能しました。

土蜘蛛と源頼光との戦いを描いた能『土蜘蛛』では、おどろおどろしい雰囲気に始まり、固唾を飲んで観ていた客席でしたが、正体を現した土蜘蛛の精が糸をばとと繰り出すと感嘆のどよめきが始まりました。間狂言「さゝ蟹」の愉快な動きに笑いが沸き起こった後は、いよいよクライマックス。土蜘蛛の精から縦横無尽に繰り出される蜘蛛の糸が弧を描きながら宙を舞う度に、大きな拍手と感嘆の声が上がるなど、会場中が熱気に溢れる公演となりました。



狂言『佐渡狐』



能『土蜘蛛』

伝統芸能講座

公演に先立ち、伝統芸能講座を開催しました。講座の開催にあたっては、観世三郎太さんに事前取材を行い、講座では、能・狂言の基本的な解説はもちろんのこと、三郎太さんにお伺いした、能『土蜘蛛』のみどころ、三郎太さんからのメッセージなどを交えながら、公演を観る前に知っておくとより作品を楽しめるポイントをご紹介いただきました。

講師所蔵のお道具にも触れられるコーナーを設置し、休憩時に講師から解説つきでご案内いただくなど、お道具を通して、より深く能・狂言に触れられる機会となりました。



観世能楽堂での事前取材の様子



番組の解説を行う講師田村民子さん



道具にもじっくりと触れられるコーナー

vol.14は、古典・新作落語と多様な落語を展開し、俳優としても活躍する立川がじらさんと、同郷でユニットを組んで活動も行っている柳家小もんさんが登場!



演目：風呂敷 秩父の猪買い
立川がじら



演目：長短・もぐら泥
柳家小もん

押し入れに隠した男を風呂敷を使って逃がそうとする、緊迫のドタバタ劇が繰り広げられる「風呂敷」と仕留めたと思込んでいた猪が、本当は銃声で気絶していただけだったその結末に思わず笑ってしまう「秩父の猪買い」の二題を披露していただき、まさかのオチに会場中が大きな笑いに包まれました。

正反対の性格の二人を演じ分ける「長短」と敷居の下を掘って掛け錠を外そうとする間抜けな泥棒を演じる「もぐら泥」の二題を披露していただき、役柄を巧みに切り替える度に客席は大盛り上がり。話を引き立てるその表現力に拍手が起こる場面も。視覚的な面白さまでも楽しんでいただくことができました!

日時 2026年1月26日(月)
開演18:30(開場18:00)

会場 **けやきフォーラム**
料金 **【全席自由】**
1,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

昔昔亭 **喜太郎**
三遊亭 **ふう丈**

チケット取り扱い
市民会館電話予約
窓口販売



10/25(土) 夔賀さくらハープコンサート レポート

けやきフォーラムを会場に、間近で演奏をお楽しみいただく、けやきのたね音楽シリーズ。今回は、ハープ奏者の夔賀さくらさんをお招きしました。



世界の様々な国の楽曲をグランドハープ、アイリッシュハープ、2種類の大きさの異なるハープの演奏でお楽しみいただきました。けやきの木を背景に、繊細であたたかいハープの音色に客席中が酔いしれ、心地よい夕暮れのひとつときとなりました。

演奏曲の作曲家の方にもご来場いただき、曲に込めた思いや作曲時のエピソードなどもお話しいただくなど、より深く曲を知ることができ、休憩中にも、ハープを間近で見学するなど、楽器自体にも触れられる機会となりました。



11/16(日) ヒネモスコンサート レポート

10人組のおもちゃの楽団「ヒネモス」のコンサートを開催!そして本番前には、ヒネモスメンバーのみなさんと一緒に、関連ワークショップ『シンバルをたたく人形づくり』を実施しました。



関連のワークショップでは、好きなイラストを描いたり、好きな形に切って飾りつけをしたりと楽しみながら、参加者それぞれ自由な発想で、自分だけのシンバル人形を作りました。コンサート冒頭では、ワークショップ参加者の子どもたちとヒネモスが一緒に入場し、作った人形を使って演奏を披露!子どもたちは、舞台上でアーティストと一緒に演奏する貴重な体験に、少し緊張しながらも楽しそうに演奏していました♪



舞台上にはたくさんの楽器やおもちゃなどが並び、10人で約50個の“音の鳴るもの”を演奏していただきました。楽器に限らず、使い方を工夫してみると素敵な音が鳴り、音楽は誰でも自由に楽しめるものだと、改めて感じました。来場者も一緒になって踊ったり、舞台上上がって演奏したりする参加型コーナーも!初めてのコンサートとしてご来場いただいたお子様もあり、子どもから大人まで、思わず身体がノってしまいうる愉快な演奏を楽しみました!



チケット取り扱い詳細

秩父宮記念市民会館

電話予約

チケット専用電話 ☎0494-23-2294(9:00~18:00 火曜日休館)
※発売初日は、10:00より受付開始となります。
※予約後、翌日から2週間以内に市民会館ホール事務室にてチケットをお引き取りください。
※座席選択はできません。

窓口販売

市民会館ホール事務室(9:00~18:00 火曜日休館)
※発売初日の翌日以降、残券がある場合のみ取り扱いいたします。

チケットぴあ

<https://t.pia.jp/>
※座席選択はできません。
※チケットぴあでの取り扱いとはホール公演のみです。



アクセス



※車の駐車台数には限りがあります。公共交通機関のご利用や、徒歩・自転車等での来場にご協力ください。

[電車でお越しの場合]

西武鉄道「西武秩父駅」から徒歩5分
秩父鉄道「御花畑駅」から徒歩3分・「秩父駅」から徒歩15分
[車でお越しの場合]
関越自動車道「花園I.C.」から国道140号を利用、秩父市内へ(花園I.C.から約35km)

お問い合わせ

秩父宮記念市民会館
The Prince Chichibu Memorial Civic Hall

〒368-8686 秩父市熊木町8-15

TEL:0494-24-6000

(9:00~18:00 火曜日休館)

FAX:0494-23-2298 <https://ccbhall.saitama.jp>



編集後記

あけましておめでとうございます!高井です。2026年の年明けをいかがお過ごしでしょうか?「午年はどんな年?」と検索したところ、『「前進」「飛躍」「活力」を象徴する年』と出ました。駆け抜ける馬のように、力強く走り抜けていきたいですね!さて、市民会館では、イタリアの劇団による不思議なパフォーマンス、世界の擦弦楽器によるコンサートなど、様々な事業を予定しております。ぜひご来場ください。本年もどうぞよろしくお願いたします!